

試作版

「アトム・カルテット」

原子のカードゲーム

2009.5.23

札幌たのしい授業・研究サークル用レポート

丸山秀一



厚生労働省がインフルエンザのカードゲーム「パンデミック・フルー」を公開しています。先月、サークルのみなさんとやってみると、なかなかおもしろいものでした。ただし、おもしろいのは「カルテット」というルールであり、遊んでみてもインフルエンザについてかしくなったような気がしないのでした。

そこで、そのルールで原子のカードゲームを作ることを見つけました。いつも慣れ親しんでいる板倉聖宣先生の「原子の立体周期表」(仮説社)の原子の分類を使って、原子を6種類に分類しました。ゲームには分類が8種類必要なので、あと二種類が問題です。「ふつうの金属」をもう一種類作ろうかとも思いましたが、とりあえず、「放射性原子」と「ゲンシマン」を加えました。「ゲンシマン」は、小笠原智(と真)さ

んの「原子のキャラクター・マンガ」です。

名称は、とりあえず「アトム・カルテット」としてみました。
まだまだ、カードに原子の簡単な説明があった方が良いのか、単体の写真を使うかどうか・・・などいろいろと考えることはありますが、サークルに間に合わせるためのとりあえずの試作版です。

遊び方も「カルテット」以外にもありそうです。

- ・ 板倉聖宣「原子の立体周期表」仮説社
- ・ 板倉聖宣『原子とつきあう本』仮説社
原子の分類などについて準拠しました。

- ・ 厚生労働省「カードゲーム」

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/inful_pamphlet.html

「カルテット」のルールについてはこちらでどうぞ。

- ・ Wikipedia

単体の写真などはここからのものが多いです。